

平成 27 年度青少年の体験活動等の重要性の普及・啓発に関する事業
「親子チャレンジキャンプ in 阿蘇～ウィンターキャンプ編～」 事業報告書
企画指導専門職 三枝 ひとみ

1 事業概要

- (1)実施日 平成 27 年 2 月 6 日(土)～7 日(日) 1 泊 2 日
(2)活動場所 国立阿蘇青少年交流の家
九重森林公園スキー場
(3)参加者 36 名(14 ファミリー)
(未就学児 7 名、小学生 12 名、中学生 2 名、大人 15 名)
(4)事業内容

【1 日目】

- ・スキー体験 研修指導員 薄井良文 氏
藤原孝誠 氏
立川浩司 氏
伊志嶺朝紀 氏
講師 薄井岳 氏

【2 日目】

- ・気球体験 阿蘇ネイチャーランド
・親子ふれあい体操 およこスタジオ RAFiT 坂口京子 氏

2 成果と課題

(1)成果

- ① スキー体験では親子別の班編成で活動したので、子どもが親に頼ることなくチャレンジできた。「友達ができた。」と子どもたちの交流も深まった。保護者には、子どもも自分も普段できない体験ができたことを喜んでもらった。
- ② 活動時間にゆとりをもたせたこと、活動は無理のないように配慮したこと、家族での時間を確保したことなどにより楽しんでもらえ満足度も高まった。
- ③ 研修指導員と活動の目標やスキー場での動線の確認を綿密に行い、参加者への対応の共通理解を図ったことで、参加者が安心して活動できた。

(2)課題

- ① 体調不良等で休憩をする参加者への対応、休憩場所の共通理解ができていなかった。職員の役割分担を細かく考えておく必要がある。
- ② 「親子ふれあい体操」での保護者だけで交流する場が好評だったが、今回は時間が短かった。親子向けの事業では、保護者が情報交換をする時間をできるだけ取り入れたい。
- ③ 「来年度も参加したい。」という声が多く聞かれた。親子向けの事業、小学生も親子で参加できる事業を企画し、多くの人に告知していきたい。



【開会式でのアイスブレイク】



【スキー体験(大人)】



【スキー体験(子ども)】



【そり遊び(幼児)】



【気球体験】



【親子ふれあい体操】



【保護者の交流の場】



【閉会式】